

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

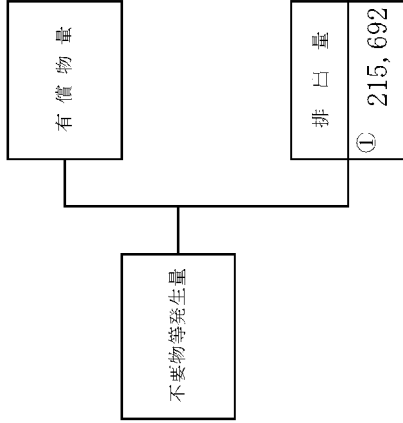
(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書 令和6年6月20日 北九州市長 様 提出者 住 所 北九州市戸畑区飛幡町1-1 氏 名 日本製鉄株式会社 九州製鉄所 所長 中田 昌宏 電話番号 093-872-6613 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	日本製鉄株式会社 九州製鉄所八幡地区【戸畑】		
事業場の所在地	北九州市戸畑区飛幡町1-1		
事業の種類	鉄鋼業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,130,215 t	全処理委託量	185,419 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	811,489 t	優良認定処理業者への処理委託量	5,859 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	92,327 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	9,859 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

(産業廃棄物の種類：鉱さい)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	215,692
②+⑧自ら再生利用を行った量	83,424
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	132,268
①優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	74,724
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑧ 自ら中間処理した後の再生利用した量
60,225

② 自ら直接再生利用した量
23,199

① 排出量
215,692

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残量
192,493

④ 自ら中間処理した量
192,493

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0

⑨ 自ら中間処理した後の埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
132,268

④のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑪ ④のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

⑫ 再生利用業者への処理委託量
74,724

⑬ ④のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

⑭ ④のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

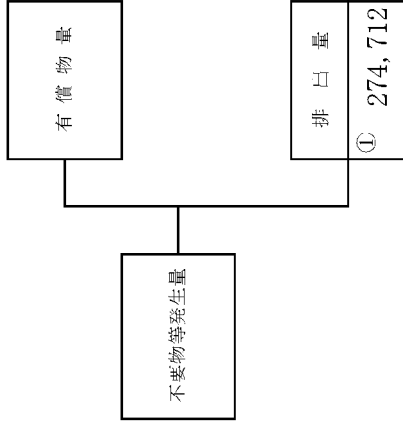
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
74,724

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ダスト)



項目	実績値
①排出量	274,712
②+⑧自ら再生利用を行った量	274,712
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑧ 自ら中間処理した後に再生利用した量
0

⑨ 自ら中間処理した後に埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
0

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

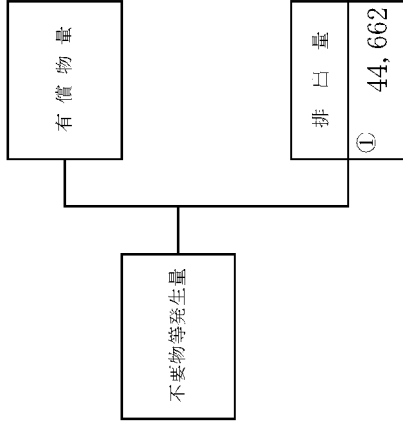
⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)



項目	実績値
①排出量	44,662
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	9,859
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	34,803
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1,997
⑫再生利用業者への処理委託量	16,892
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

自ら直接再生利用した量
② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

排出量
① 44,662

自ら中間処理した後の残量
⑥ 15,495

自ら中間処理した量
④ 25,354

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 9,859

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 34,803

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 16,892

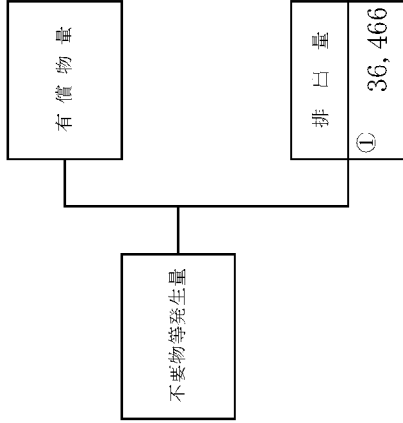
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

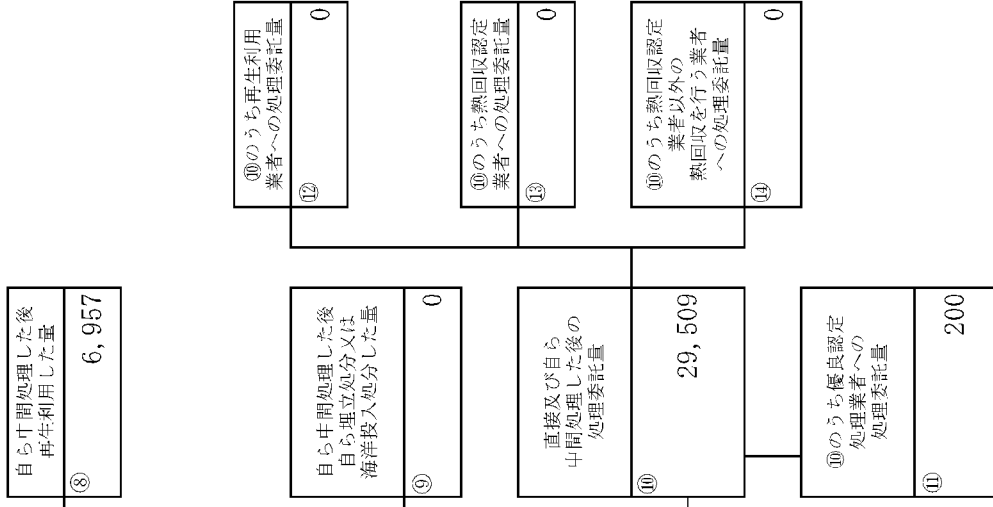
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 1,997

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)

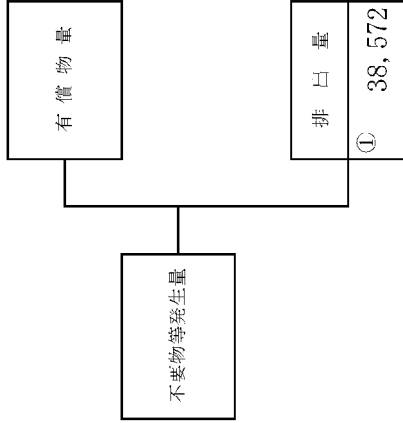


項目	実績値
①排出量	36,466
②+⑧自ら再生利用を行った量	6,957
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗+㉘+㉙+㉚+㉛+㉜+㉝+㉞+㉟+㊱+㊲+㊳+㊴+㊵+㊶+㊷+㊸+㊹+㊺+㊻+㊼+㊽+㊾+㊿	0
⑩全処理委託量	29,509
①優良認定処理業者への処理委託量	200
②再生利用業者への処理委託量	0
③熱回収認定業者への処理委託量	0
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0
⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況
(産業廃棄物の種類：がれき類)



項目	実績値
①排出量	38,572
②+⑧自ら再生利用を行った量	26,756
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	11,816
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
26,756

⑫のうち再生利用業者への処理委託量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
11,816

⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
38,572

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0

④ 自ら中間処理した量
38,572

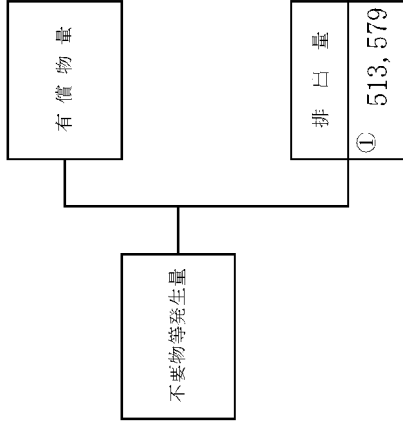
⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

② 自ら直接再生利用した量
0

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



項目	実績値
①排出量	513,579
②+⑧自ら再生利用を行った量	513,579
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧ 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した量
④ 0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量
⑥ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 0

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 0

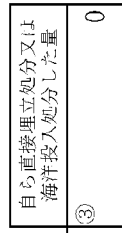
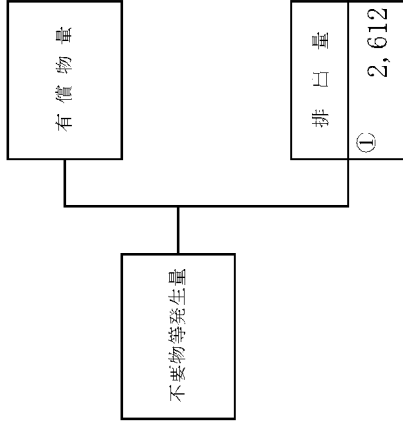
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

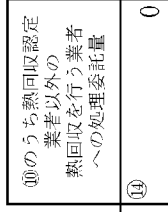
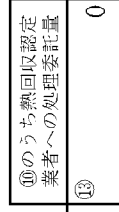
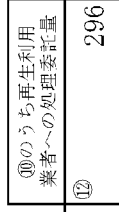
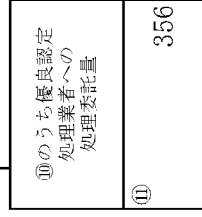
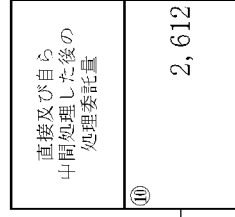
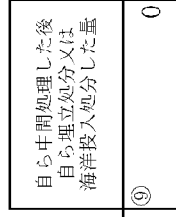
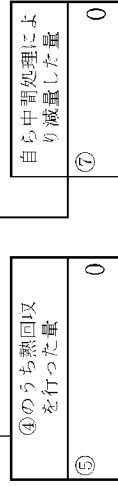
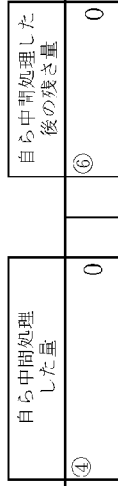
⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック類)

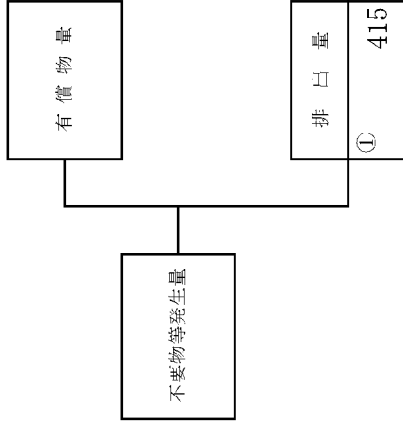


項目	実績値
①排出量	2,612
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2,612
①優良認定処理業者への処理委託量	356
⑫再生利用業者への処理委託量	296
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(産業廃棄物の種類：木くず)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	415
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	415
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	415
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0

② 自ら直接再生利用した量
0

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

① 排出量
415

⑥ 自ら中間処理した後の残量
0

④ 自ら中間処理した量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
415

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
415

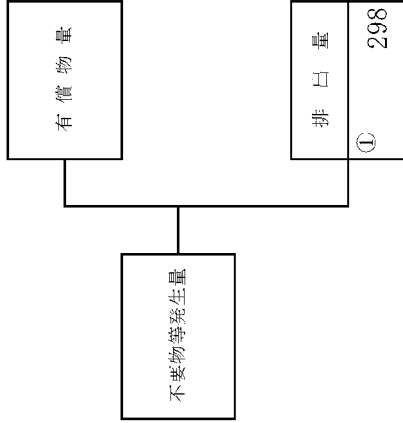
⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への熱回収を行う業者への処理委託量
0

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃酸)



項目	実績値
①排出量	298
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	298
①優良認定処理業者への処理委託量	298
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら中間処理した後の再生利用した量
⑧ 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③ 0

自ら中間処理した量
④ 0

④のうち熱回収を行った量
⑤ 0

自ら中間処理した後の残量
⑥ 0

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩ 298

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪ 298

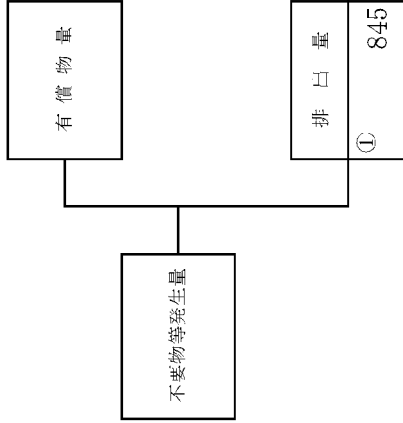
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)



項目	実績値
①排出量	845
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	845
⑩優良認定処理業者への処理委託量	845
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0

② 自ら直接再生利用した量
0

① 排出量
845

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残量
0

④ 自ら中間処理した量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
845

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
0

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
845

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

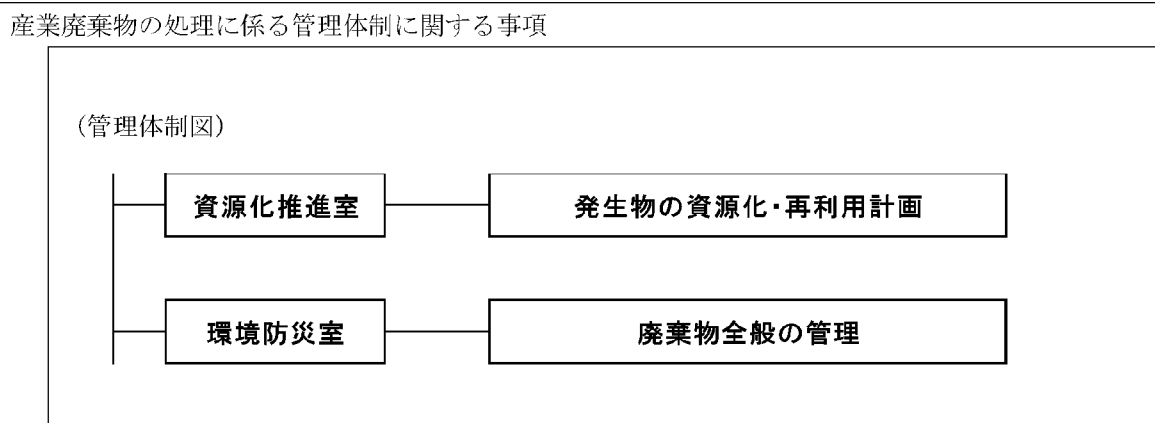
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和6年6月20日</p> <p>北九州市長 様</p> <p>提出者 住 所 北九州市戸畑区飛幡町1-1 氏 名 日本製鉄株式会社 九州製鉄所 所長 中田 昌宏 電話番号 093-872-6613</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	日本製鉄株式会社 九州製鉄所八幡地区【戸畑】
事業場の所在地	北九州市戸畑区飛幡町1-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	鉄鋼業
②事業の規模	出荷額 7,333億円(令和5年度)
③従業員数	3,165人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1-1～1-3参照

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	排 出 量	215,692 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	排 出 量	200,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類別に分類し、再資源化を図る。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、種類別に分類し、再資源化を図る。

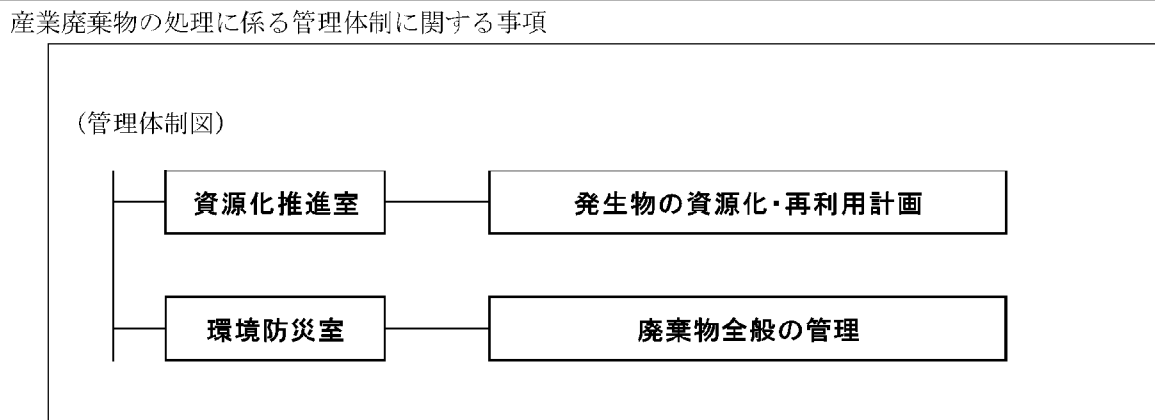
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	83,424 t	
	(これまでに実施した取組) 破碎・分別し、路盤材等に使用する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	150,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、破碎・分別し、路盤材等に使用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	
	全処理委託量	132,268 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	74,724 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 多くの鉦さいを再生利用業者へ処理委託する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉍さい	
	全処理委託量	100,000 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	60,000 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、多くの鉍物さいを再生利用業者へ処理委託する。		
※事務処理欄			

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	排 出 量	274,712 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	排 出 量	280,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ダストの種類毎に分別管理する。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、ダストの種類毎に分別管理する。

(第3面)

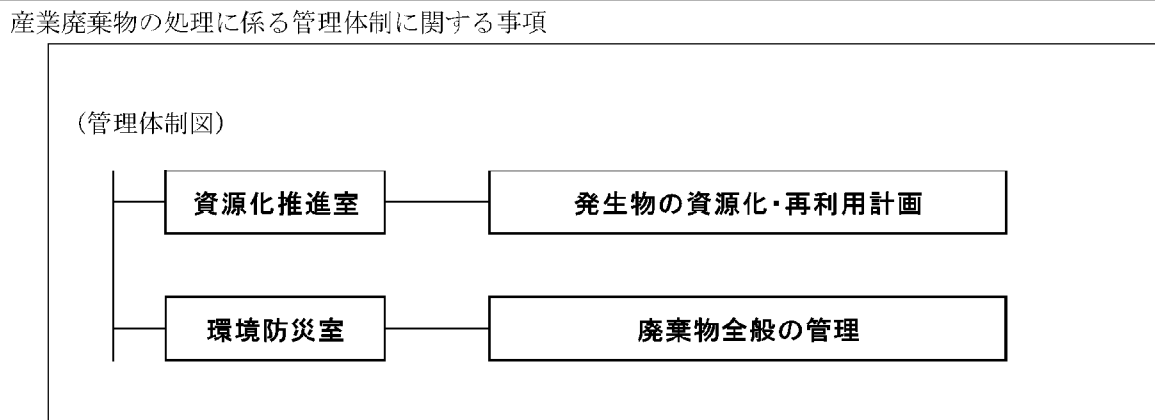
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	274,712 t	
	(これまでに実施した取組) 原料として再利用する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	280,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、原料として再利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立・海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立・海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	全処理委託量	0 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 処理委託をせず、全量再利用する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ダスト	
	全処理委託量	0 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、処理委託をせず、全量再利用する。		
※事務処理欄			

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	44,662 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	排出量	50,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 鉄分の多い汚泥は再利用する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、鉄分の多い汚泥は再利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	9,859 t	
(これまでに実施した取組) 2段脱水により減量化する。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	12,000 t	
(今後実施する予定の取組) 今後も、2段脱水により減量化する。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	34,803 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	1,997 t	
	再生利用業者への処理委託量	16,892 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 鉄分の多い汚泥は再生利用業者へ処理委託する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	37,000 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	50 t	
	再生利用業者への 処理委託量	12,000 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、鉄分の多い汚泥は再生利用業者へ処理委託する。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
<pre>graph LR; A[資源化推進室] --- B[発生物の資源化・再利用計画]; C[環境防災室] --- D[廃棄物全般の管理];</pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)			
① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	排出量	36,466 t	
	(これまでに実施した取組) 炉の補修方法、補修時期の効率化より廃炉材を減少する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	排出量	35,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、炉の補修方法、補修時期の効率化より廃炉材を減少する。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃炉材の種類毎に分別する。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、廃炉材の種類毎に分別する。		

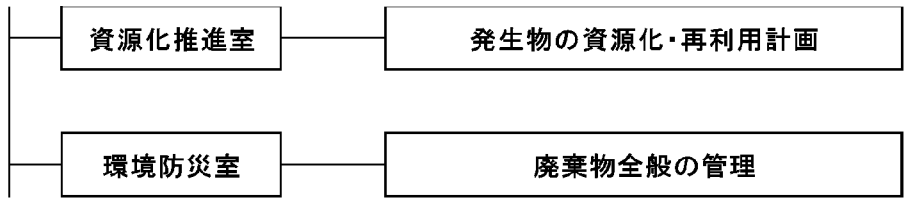
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	6,957 t	
	(これまでに実施した取組) 廃炉材の種類毎に分別する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	30,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、廃炉材の種類毎に分別する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	29,509 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	200 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	
	全処理委託量	5,000 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)			
① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	38,572 t	
	(これまで実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排 出 量	35,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。

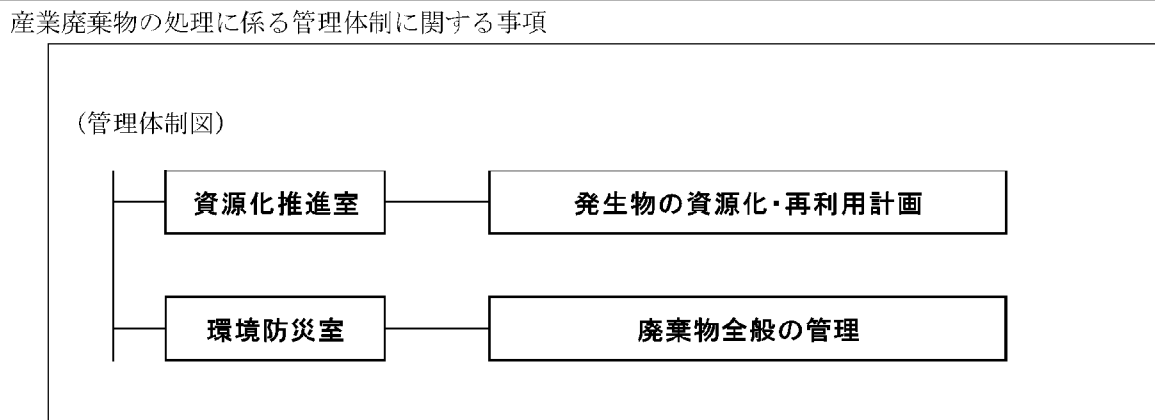
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	26,756 t	
	(これまでに実施した取組) 粉砕・分別し、再利用する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	34,500 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、粉砕・分別し、再利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	11,816 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 粉砕・分別し、再利用する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	500 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、粉碎・分別し、再利用する。		
※事務処理欄			

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排出量	513,579 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	排出量	300,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くずの種類毎に分別する。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、金属くずの種類毎に分別する。

(第3面)

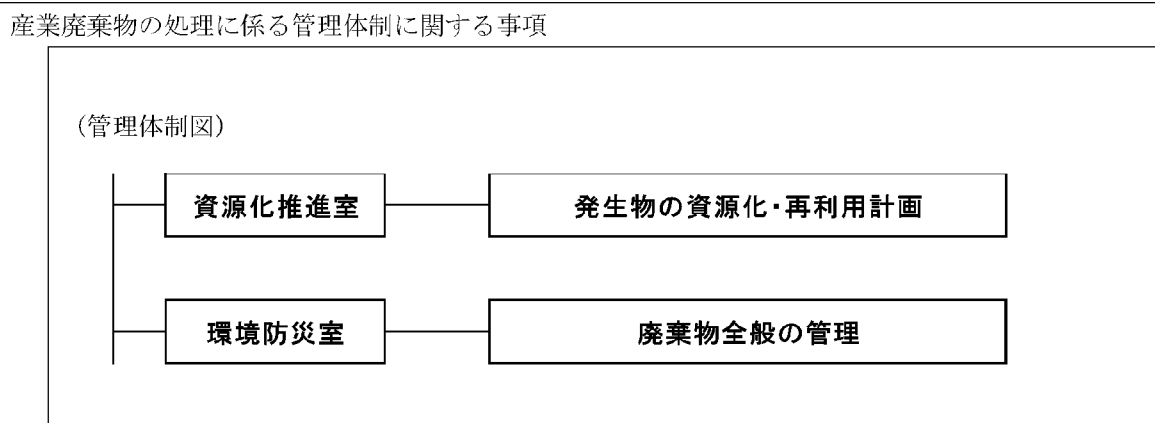
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	513,579 t	
	(これまでに実施した取組) 金属くずの種類毎に分別し、再利用する。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	300,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、金属くずの種類毎に分別し、再利用する。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全処理委託量	0 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 金属くずの種類毎に分別し、再利用する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	
	全処理委託量	0 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、金属くずの種類毎に分別し、再利用する。		
※事務処理欄			

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排 出 量	2,612 t	
	(これまで実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排 出 量	2,500 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックの種類毎に分別する。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、廃プラスチックの種類毎に分別する。

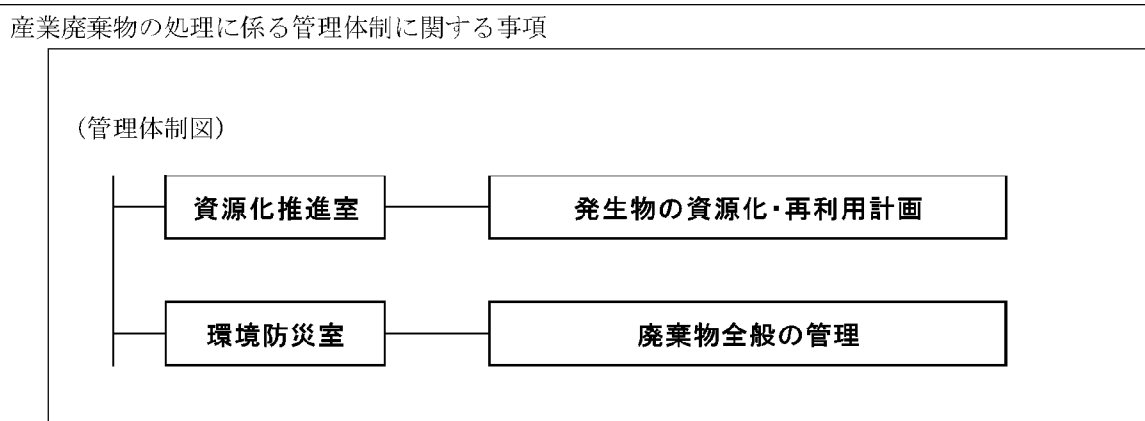
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全処理委託量	2,612 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	356 t	
	再生利用業者への処理委託量	296 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
(これまでに実施した取組) 廃プラスチックの多くを再生利用業者及び熱回収業者へ処理委託する。			

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	全処理委託量	2,500 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	400 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>今後も、廃プラスチックの多くを再生利用業者及び熱回収業者へ処理委託する。</p>		
※事務処理欄			

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	415 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	400 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。

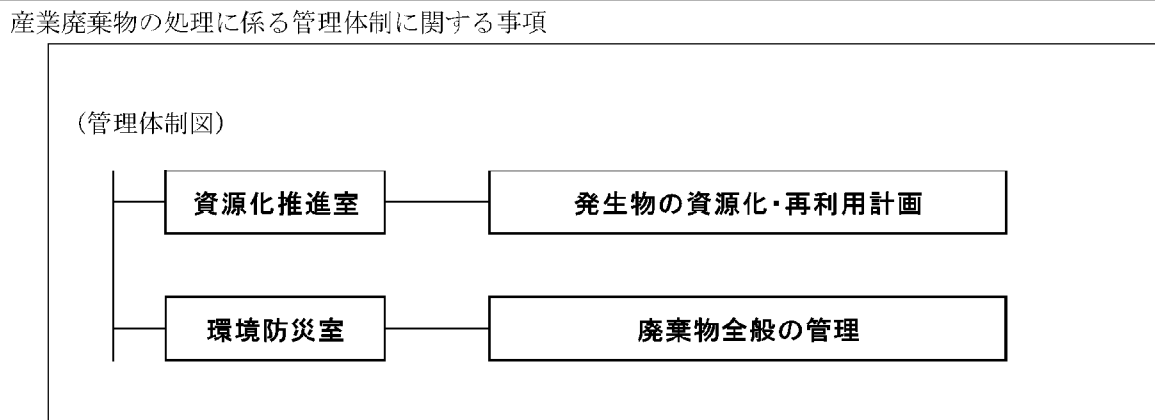
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	415 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	
	再生利用業者への処理委託量	415 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者へ処理委託する。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	400 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	400 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、再生利用業者へ処理委託する。		
※事務処理欄			

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	排出量	2,364 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	排出量	2,500 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。

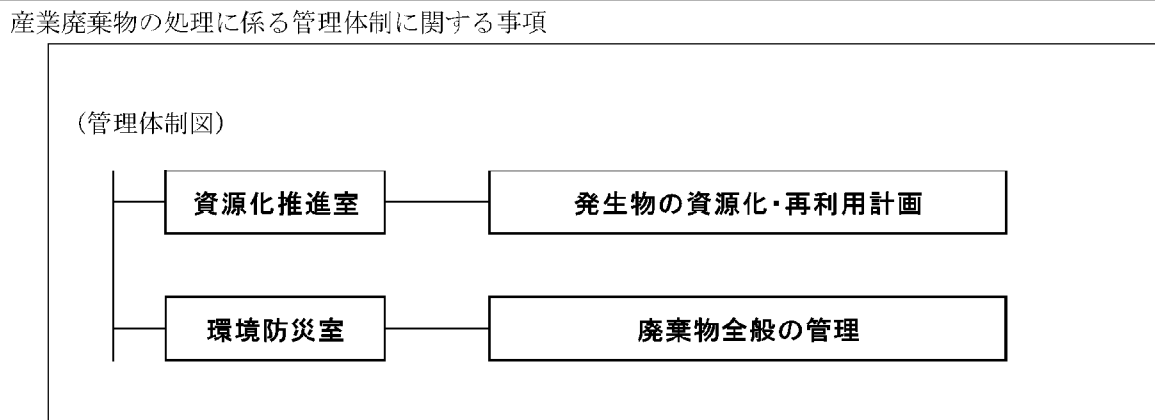
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	全処理委託量	2,364 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	2,364 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	全処理委託量	2,500 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	50 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
※事務処理欄			

(第2面)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)

① 現状	【前年度(令和5年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	排出量	298 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	排出量	1,000 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	全処理委託量	298 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	298 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	
	全処理委託量	1,000 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	200 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<p>(管理体制図)</p> <pre>graph LR; A[資源化推進室] --- B[発生物の資源化・再利用計画]; C[環境防災室] --- D[廃棄物全般の管理];</pre>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 (別紙 産業廃棄物処理計画総括表を参照)			
① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	845 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	排 出 量	300 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自社埋立、海洋投棄は実施しない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	845 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	845 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 特に無し。		

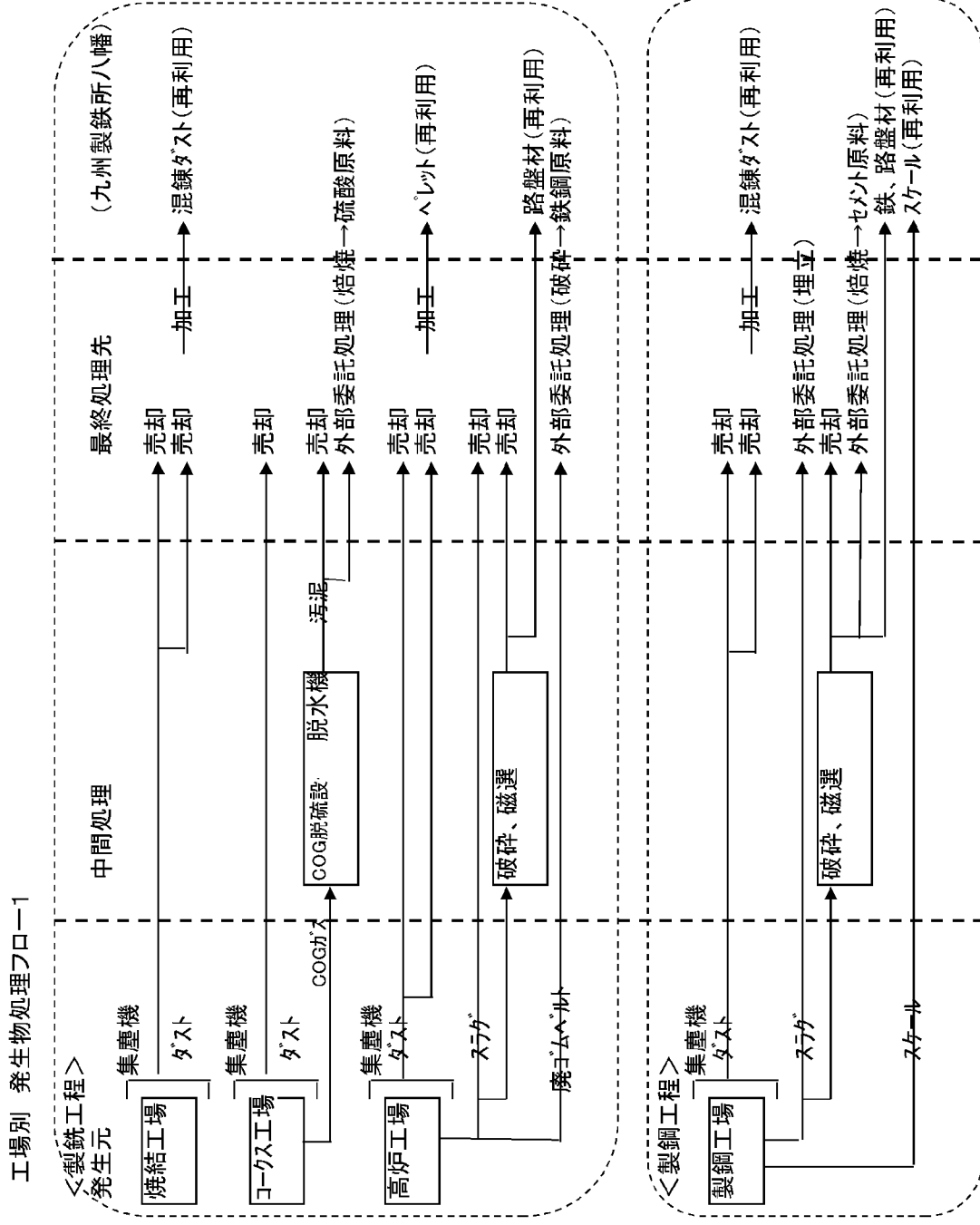
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	300 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	10 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。		
※事務処理欄			

(第6面)

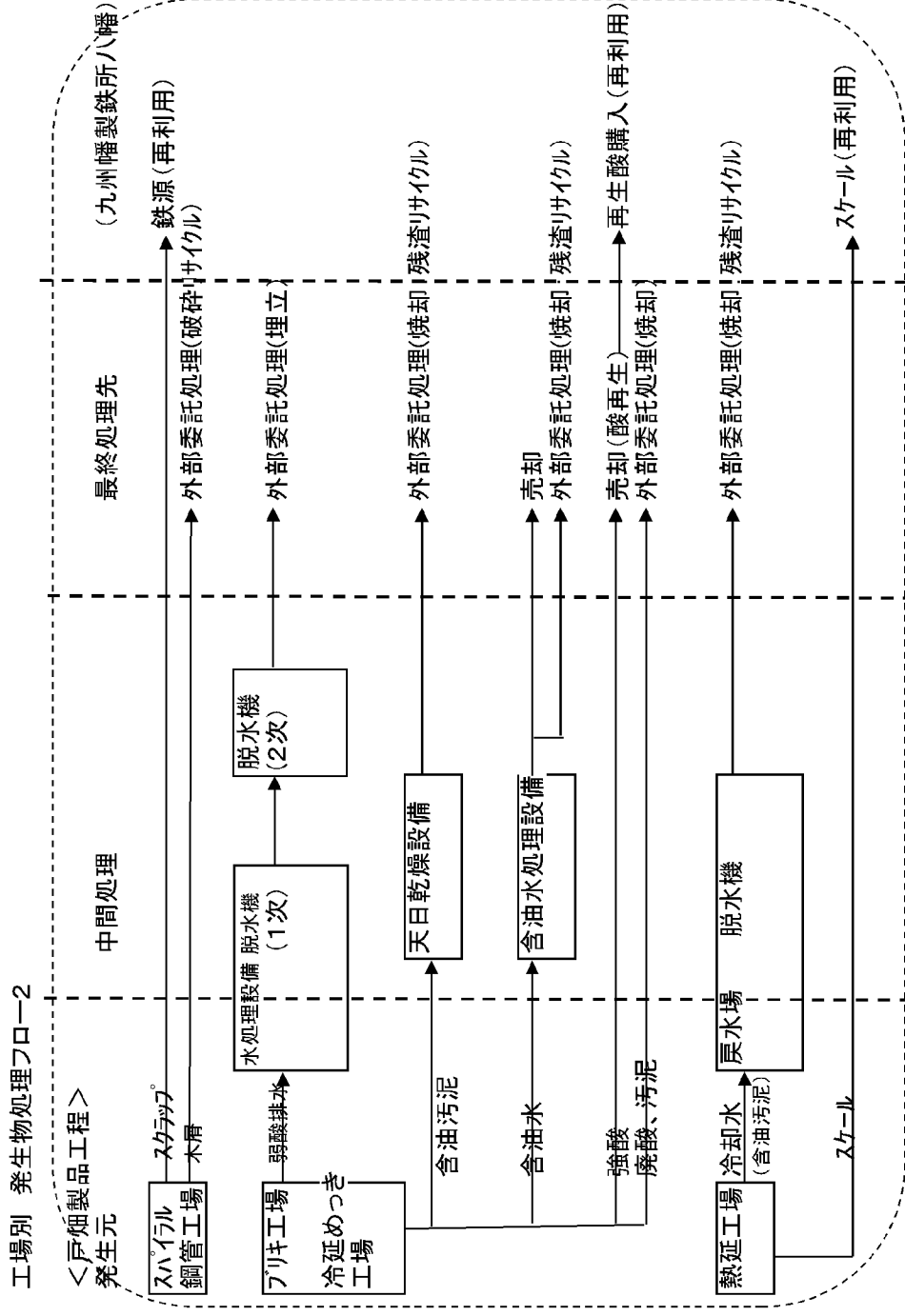
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

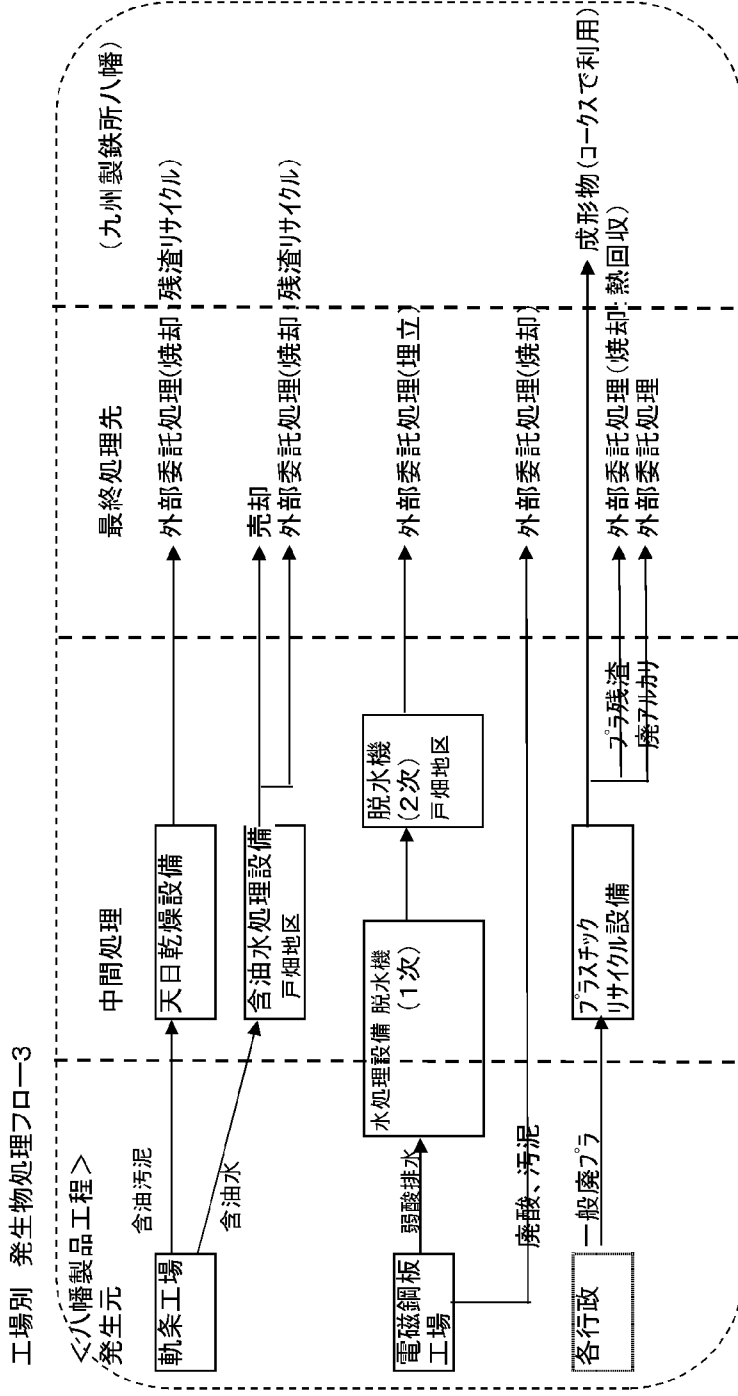
別紙1-1 産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙1-2 産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙1-3 産業廃棄物の一連の処理の工程



様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

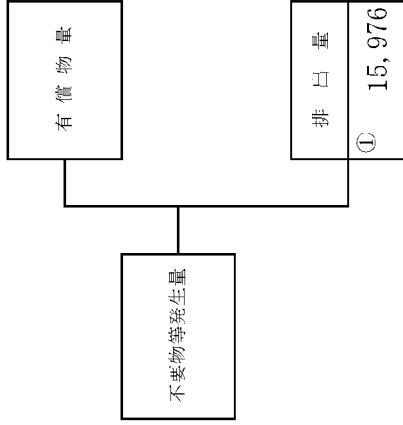
(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 令和6年6月20日 北九州市長 様 提出者 住 所 北九州市戸畑区飛幡町1-1 氏 名 日本製鉄株式会社 九州製鉄所 所長 中田 昌宏 電話番号 093-872-6613 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和5年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。				
事業場の名称	日本製鉄株式会社 九州製鉄所八幡地区【戸畑】			
事業場の所在地	北九州市戸畑区飛幡町1-1			
事業の種類	鉄鋼業			
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日			
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値				
	項目	目標値	項目	目標値
	排出量	17,750 t	全処理委託量	17,750 t
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	367 t
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
電子情報処理組織の使用に関する事項				
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	10,129 t	
		前年度	17,379 t	
	(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 平成16年度より、電子マニフェストを導入済み。			
※事務処理欄				

(日本工業規格 A列4番)

(特別管理産業廃棄物の種類：鉱さい)

計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	15,976
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	15,976
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量	②	0
-------------	---	---

自ら直接埋立処分した量	③	0
-------------	---	---

自ら中間処理した量	④	0
-----------	---	---

④のうち熱回収を行った量	⑤	0
--------------	---	---

自ら中間処理による減量した量	⑦	0
----------------	---	---

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	15,976
---------------------	---	--------

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0
---------------------	---	---

⑧のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	0
-------------------	---	---

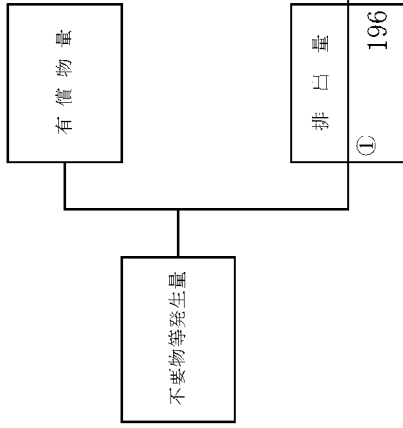
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0
--------------------	---	---

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0
-------------------------------	---	---

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0
---------------------	---	---

(特別管理産業廃棄物の種類：ダスト)

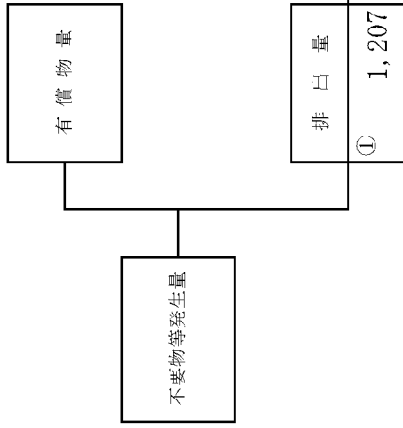
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	196
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	196
①優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の業者熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず)



項目	実績値
①排出量	1,207
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,207
①優良認定処理業者への処理委託量	0
②再生利用業者への処理委託量	0
③熱回収認定業者への処理委託量	0
④熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
0

③ 自ら直接埋立処分した量
0

④ 自ら中間処理した量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残量
0

⑦ 自ら中間処理により減量した量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
1,207

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
0

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量
0

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の業者へ熱回収を行う業者への処理委託量
0

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

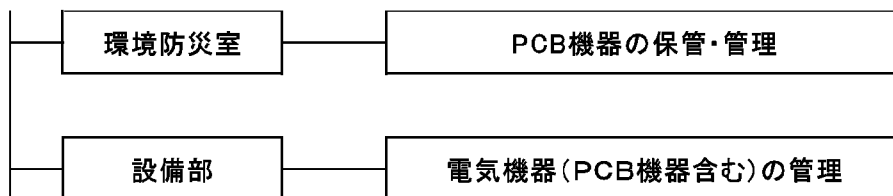
(第1面)

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p>令和6年6月20日</p>	
<p>北九州市長 様</p> <p style="text-align: right;">提出者</p> <p style="text-align: right;">住 所 北九州市戸畑区飛幡町1-1</p> <p style="text-align: right;">氏 名 日本製鉄株式会社 九州製鉄所</p> <p style="text-align: right;">所長 中田 昌宏</p> <p style="text-align: right;">電話番号 093-872-6613</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	日本製鉄株式会社 九州製鉄所八幡地区【戸畑】
事業場の所在地	北九州市戸畑区飛幡町1-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	鉄鋼業
② 事業の規模	出荷額 7,333億円(令和5年度)
③ 従業員数	3,165人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本工業規格 A列4番)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB	
	排出量	370 t	
	(これまでに実施した取組) 保管中のPCB機器・取外したPCB機器（油含む）を計画的に処理会社で処分		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB	
	排出量	500 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、保管中のPCB機器・取外したPCB機器（油含む）を計画的に処理会社にて処分		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) PCB廃棄物の種類毎に分別
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も、PCB廃棄物の種類毎に分別

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	P C B
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) 再生利用はしない。	
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	P C B
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、再生利用はしない。	
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項		
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	P C B
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理はしない。	
② 計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	P C B
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら中間処理はしない。	

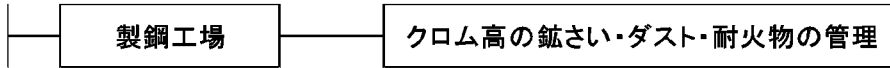
(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分はしない。		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、自ら埋立処分はしない。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	PCB	
	全処理委託量	370 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	367 t	
	再生利用業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者への処理委託をする。			

② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	P C B	
	全処理委託量	500 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	500 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 今後も、優良認定処理業者への処理委託をする。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	17,379 t	
	(今後実施する予定の取組等) 平成16年度より、電子マニフェストを導入済み。		
※事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	排出量	15,976 t	196 t	1,207 t
	(これまでに実施した取組) クロムの高い廃棄物を処理会社で処分。			
② 計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	排出量	5,000 t	150 t	1,300 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も、クロムの高い廃棄物を処理会社で処分。			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。
② 計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特に無し。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項				
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉍さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉍さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。			
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項				
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉍さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉍さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。			

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉍さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 特に無し。			
② 計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉍さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。			
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉍さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	15,976 t	196 t	1,207 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) 特に無し。				

② 計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
	全処理委託量	5000 t	150 t	1300 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 特に無し。			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	17,379 t		
	(今後実施する予定の取組等) 平成16年度より、電子マニフェストを導入済み。			
※事務処理欄				

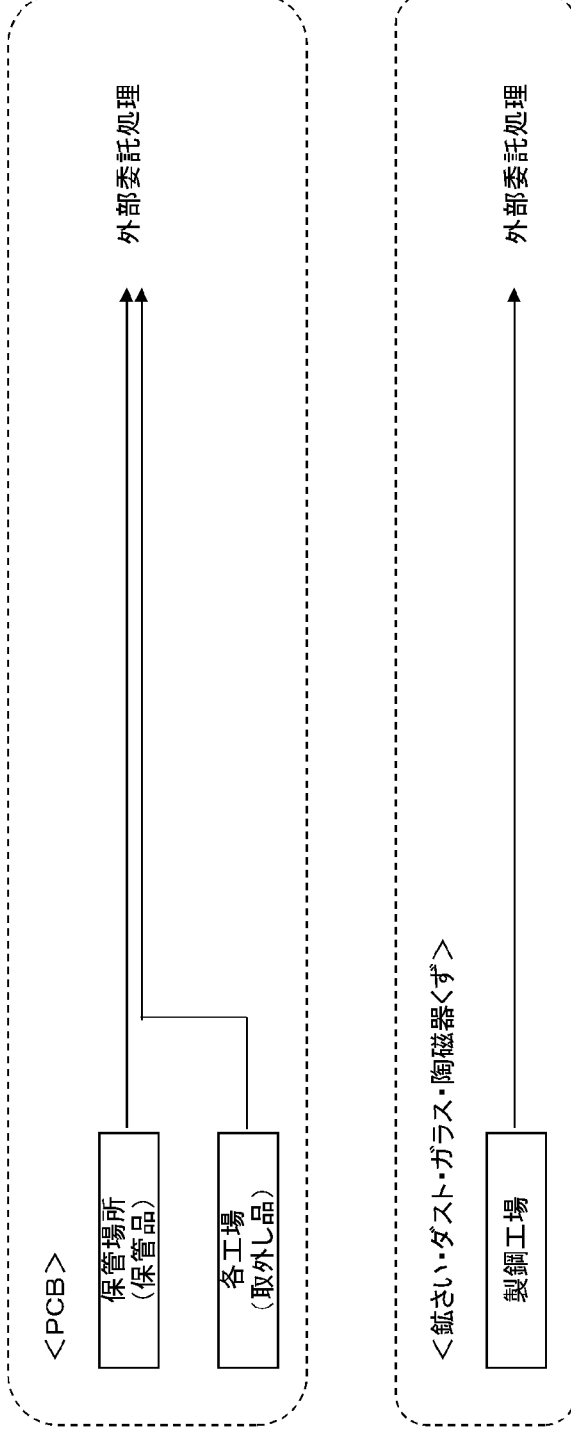
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記

入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

9 ※欄は記入しないこと。

別紙1 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	PCB	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
現状【前年度実績】	370 t	15,976 t	196 t	1,207 t
計画【目標】	500 t	5,000 t	150 t	1,300 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類	PCB	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
現状【前年度実績】	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物の種類	PCB	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
現状【前年度実績】	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

産業廃棄物の種類	PCB	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
現状【前年度実績】	0 t	0 t	0 t	0 t
計画【目標】	0 t	0 t	0 t	0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類		PCB	鉱さい	ダスト	ガラス・陶磁器くず
現状 前年度実績	全量処理委託量	370 t	15,976 t	196 t	1,207 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	367 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
計画 目標	全量処理委託量	500 t	5,000 t	150 t	1,300 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	500 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t